



瑞浪市青少年育成市民会議だより

第21号

# 笑顔あふれるみずなみ

『みとめて ほめて はげまして』 みんなの力で健やかに

〔発行〕 瑞浪市青少年育成市民会議      〔編集〕 市民会議専門部会 広報部会



第1回瑞浪市青少年育成市民会議総会 令和5年5月21日(日)



大湫町民会議(モデル地区指定) 活躍を期待しています



スマイリーキクチ氏(タレント)による講演  
「ネットに潜む危険なワナ ～加害者や被害者にならないためにすること～」

青少年育成市民会議総会を開催しました。その中でタレントのスマイリーキクチ氏による講演「ネットに潜む危険なワナ」加害者や被害者にならないためにすること」を聴きました。

笑顔と穏やかな口調ながら、鋭い切り口のトークが印象的でした。ご自身のネット中傷被害の経験から、「子どもたちを加害者や被害者にさせない」ためのとても大切なことを熱く語っていただきました。是非、ご家庭でも話し合ってほしい内容でした。ここに感想の一部を紹介します。

○今日の講演を聞くことができ本当に良かったです。ネットの中傷問題は深刻ですね。今のところ身の回りに被害を受けた人はいませんが、「身を守ること」大事ですよね。「ありがとうの言葉、見返すことは幸せになること」、その通りですね。「励ましの温かい言葉」、心がけていきたいです。

○いつ誰が巻き込まれてもおかしくないことが演題となっていて大変興味深く話を聞くことができました。実体験に基づく話で説得力があった。子育て世代の親にもぜひ聞いてほしいと思った。改めてネットとの関わり方を考えさせられた。

○23年間もネットによる被害を受けても前向きに人生を楽しんでいる姿が印象的でした。SNSに潜む危険なワナは様々な犯罪につながる。子どもたちが携帯を持つときに指導することが大事。加害者にも被害者にもならないように。

# 瑞浪市主張大会

令和5年6月18日(日)

## 出場者氏名

◎最優秀賞 「1」題名  
○優秀賞

### 小学生の部

- 水野 光彩 明世小6年
- 小木曾友理 釜戸小6年
- 小栗 柚帆 日吉小6年
- 小島 愛莉 瑞浪小6年
- 浅野 雄大 土岐小6年
- 今瀧 惺音 陶小6年
- 栗本 雅徳 稲津小6年

### 中学生の部

- ◎端本 彩乃 瑞浪中3年

『もったいないが  
未来を変える』

- 鈴木 愛希 瑞浪南中3年
- 広瀬 花音 瑞浪北中3年
- 岩島のは 麗澤瑞浪中3年

### 高校生の部

- ◎嶋田まりあ 麗澤瑞浪高2年

### 『新しい』

挑戦部門

- 森 友那 中京高3年
- 山本 真綺 瑞浪高2年

## 「もったいない」が未来を変える

端本 彩乃 さん (瑞浪中学校3年)

「もったいない、全部食べやーよ」これは料理を残す私に対して祖母がかけた言葉です。そんな祖母の言葉を、私はいつも口うるさいなと思っていましたが、この言葉を聞き流す度、私は食品ロスの問題に加担してしまっていたのです。

食品ロスという言葉を知ったのは小学校の調べ学習の時間でした。二百四十七万トン、これが何の数字かわかりますか？これは一年間で家庭から発生する食品ロスの量です。計算すると一人あたり十五キログラム、ご飯だとお茶碗およそ六十杯分が一年間で廃棄されていることとなります。

こういったことを知り、私は食品ロスの問題を少しでも良くしたいと思いました。しかし、私はたくさん食べることが苦手です。食事の量を増やすことはできません。私には何もできないのではないかと決めつけていましたが、調べてみると私のような人でも食品ロス問題に対して起こせるアクションがありました。例えば、買い物の場面。牛乳などの賞味期限がある商品を手取る時、後ろの方の商品を選んで取ったことはありませんか。私も、母と買い物に行った時、賞味期限が少しでも長い後ろの商品を選びがちでした。しかし、食品ロス問題の観点から見るとどうでしょうか。誰もがこのような行動をしてしまうと、店に賞味期限切れの食品を廃棄させることになり、食品ロスにつながってしまうのです。商品を手前から取るだけでも廃棄を防ぎ、食品ロスを減らすことができます。

外食の場面にも、食品ロスを防ぐアクションがあります。ドギーバッグというのを知っていますか。ドギーバッグとは、飲食店で食べ残した料理を持ち帰ることのできる容器のことです。これを利用することで、食べ切れなかった食事を捨ててしまう、ということを減らすことができます。実は私も、家族で焼き肉に行った時、食べ残してしまったものはドギーバッグを利用して持ち帰っています。たとえ多く食べられなくても食品ロスが出ることを防ぐことができるのです。いっぽうで、ドギーバッグを利用している人はまだまだ少ないのが現状です。飲食店からも多くの食品ロスが発生していますが、ドギーバッグの普及によってこれを減らすことができれば、食品ロスの問題は大きく変わるのではないのでしょうか。

私の話を聞いて、「自分一人がそんなことを意識したところで、食品ロスの現状が変わるわけがない。」そう思った人もいるかもしれません。しかし、それは違います。確かに、一人にできるのはほんの些細なことですが、一人一人の意識の変化で食品ロスの現状は確実に変わります。

「一般人ができることは小さなことだけど、それが影響を及ぼすの。」

これは、「MOTTAINAI」を世界共通語として広めたワンガリ・マータイさんの言葉です。私一人にできるのは、小さなことだけ。けれども、きっとその積み重ねが未来を変えていくと信じて、私は食品ロスの問題に向き合い続けます。これからの未来を担うのは私達です。ほんの少しの事からでも構いません。あなたにできることをして、一緒に食品ロスを減らしていきませんか。



瑞浪市最優秀賞 (中学生の部)

## 小学生の部 優秀賞



- ・これからを担う世代の考えに触れることができました。休日に仲間の応援に来場する子どもたちの姿に感動しました。
- ・最近、少なくなったように感じられる青年の主張を、生で聴けて大変良かった。市内にこれ程、地域のことや人のことを考える青少年がいるとは思わなかった。
- ・自然は変えられないが、自分は変えられる前向きな主張（稲津小）とてもすばらしい発表でした。言葉の大切さを痛感しました。（瑞浪南中）実体験をもとにした主張、よく伝わりました。（麗澤中）
- ・小学生→中学生→高校生と成長していく姿が感じられ、ストレートに心に響きました。特に中学生の発表は5分のドラマを観ている感じがしました。



高校生の部 最優秀賞  
嶋田まりあさん（麗澤瑞浪高校）



大会を積極的に支えた高校生ボランティアの皆さん

- ・明瞭な発声、出演者への激励や労いの言葉など、どれをとっても素晴しかったです。高校生ボランティアの方々の素敵な進行のおかげで、大会がより素晴らしいものになったように思えました。
- ・発表者に近い年代の高校生が進行してくださり「自分たちで作り上げる主張大会」という雰囲気になり、よかった。
- ・小学生への労いの言葉もあり、とても良かったです。感想も心がこもっていてステキでした。

令和5年6月18日瑞浪市総合文化センターホールにて、第44回瑞浪市主張大会が開催されました。今回は小学生の部7名・中学生の部4名・高校生の部3名計14名の方が主張大会にて発表されました。文化ホールで参観制限なしでの主張大会は、令和元年度以来4年ぶりのことです。視聴者の方も、学校関係者・発表者のご家族・瑞浪市民の方など多くの方が来館していただく盛況ぶりでした。また、休日にもかかわらずボランティア活動で参加して司会進行など大会をスムーズに進行して頂いた瑞浪高校・中京高校・麗澤瑞浪高校の6名の生徒の皆さんに心から感謝申し上げます。

今回の主張大会では、「地域に根差した問題・家庭の事・食品ロスや地球温暖化などの社会問題」などがテーマとなっていました。このように、年齢を超えそれぞれの意見を傾聴することで、自らを振り返り将来を考察することができる素晴らしい場となりました。主張大会での幅広い交流が、将来地域を支え、地域の力となっていくと確信する事ができました。

岐阜県青少年育成推進指導員 曾我 順一

# 「みんな、いっしょに 多様性の尊重」

聖徳学園大学 教育学部教授 **安田 和夫** 氏

今回は、安田和夫先生の講演会とグループ懇談会の2部制で行われました。講演会では「多様性尊重の教育」として、特別支援学校時代の2名の自閉症の生徒との体験談をお話いただきました。

小学生の話では、普段の生活の中で無理のない変化を与えることで、生徒は変化を受け入れ成長していくことをお話いただきました。また中学生の生徒は、普段交流することが少ない普通教室の生徒との体育大会で、新たな大縄跳びチームを作り、優勝を目指すのではなく、笑顔で参加できるチームとして、自閉症の生徒を受け入れた生徒会メンバーの話など、親としても心温まるお話をしていただきました。

「こころのバリアフリー」として参加者同士でミニゲームを行いました。「美しい」を絵のみで表現して、相手に伝えるゲームでは、美しいをどう絵で描けばいいのか苦戦しました。自分が富士山を描いて、「美しい」を表現しても、相手は「富士山」としか答えてくれない。また、モナ・リザで「美しい」を表現しても「モナ・リザ」「絵画」としか答えてくれないもどかしさを感じることで、伝える側の難しさ、受け取る側の感じ方は違うということを実感しました。

私たち大人でも言葉を排除すると、全く表現が伝わらないことがわかり、子ども達はなおさら言葉での表現はうまく伝えることができないと認識することで、「イライラ」ではなく「待つ」という気持ちが必要だと感じました。その後、グループ懇談会を行い、瑞浪市の子育て世代としての悩みや疑問を交流しました。それぞれの体験談を交えて意見交換ができ、充実した講演会だったと思います。

青少年育成推進員（土岐町） 中根 圭一



【安田先生の話に聞き入りました】

## 講演を聞かれた方々からの感想

～出席された方々からも多くの感想をいただきましたので、一部を紹介します～

- ただ聞くだけでなく、絵を描いたり、イメージして答えたりと、頭を非常に使うことができ、大変良かったです。特別支援の話は本当に勉強になりました。また、懇談会も和気あいあいとしていて、とても良かったです。
- 多様性について理解を深めたいと思うきっかけとなりました。心のバリアフリー、大人が変わることが大切と知りました。親になって9年、日々勉強です。ありがとうございました。
- 親の立場でも、教師の立場でも、学びにつながるお話でした。自分のかかわり、子どもの見方など振り返ることができました。子どもの思いに関心を持ち、寄り添いたいと思いました。それぞれの立場での話が聞けて良い懇談会でした。
- 多様性尊重のいろはの根本を学ぶ事が出来ました。昭和子どもの令和のじいじ達にはまだ学ぶ事が必要であると思います。
- 伝わらないイライラを子どもも大人も持っているということをお聞きし、コミュニケーションをしっかりとることの大切さに改めて気付かされました。



【和気あいあいとした懇談会になりました】

## 「夏季特別街頭指導に参加して」

青少年育成推進員（稲津町） 和田 建司

毎年、瑞浪市青少年育成市民会議では、少年センター指導員の皆さんの協力を得て、学校が夏休みになる前後の7～9月の間、「夏季特別街頭指導」として瑞浪駅周辺からバロー瑞浪中央店付近の夜間巡回を行っています。

夏休み直前のこの日は、雨が心配される予報でしたが、環境改善部会員の方と少年センター指導員の皆さんと、中央公民館から約1時間巡回し、ゴミ拾いをしながら安全指導を目的とした街頭指導を行いました。雨が降ったり止んだりと不安定な天気でしたので、出歩いている人も少なかった気がしますが、中には「こんな日にもご苦労様です」と労いの言葉を掛けてくださった方もいました。駅前では、数人の高校生がいたので「早く帰ろうね。」と声をかけると、「こんばんは。もうすぐ迎えが来ます。」と気持ちの良い挨拶が返ってきました。ゴミもたばこの吸い殻が少々落ちていた程度で、自分が若かりし頃と比べると断然きれいな街だなと思いました。

地道な活動ですが、関係者の方々が長年続けてこられた成果で、正に「継続は力なり」と感じる活動だと改めて思いました。



【地道な活動が健全な青少年の育成に】

## 「青少年の非行・被害防止全国強調月間」 啓発活動

青少年育成推進員（明世町） 籾 秀樹

7月の全国強調月間の啓発活動として、全国各地で様々な活動が行われています。瑞浪市でも「瑞浪の青少年は瑞浪市民の手で みとめて、ほめて、はげまして みんなの力で健やかに」をスローガンに青少年育成市民会議、各地区町民会議等の様々な団体の協力を得て、ピアゴ・バロー・瑞浪地区・土岐地区・陶町・稲津町・釜戸町・明世町・大湫町・日吉町の各夏祭り会場等で、多くの方々に対して啓発活動を行う事ができました。

各会場にも大勢の方々の参加があり、来場された皆さんに啓発タオル・啓発ポケットティッシュ・啓発クリアファイルを手渡し、啓発活動をする事ができました。この活動を機会に、青少年の健全育成及び非行防止の為、関係府省庁・関係諸機関団体等有機的に連携しつつ、非行防止活動に積極的に取り組む事に繋がっていかれると思います。

11月には、「子ども・若者育成支援全国強調月間」の啓発活動を各地区文化祭等にて実施する予定です。地区の皆様のご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。



【活気のあった明世町の強調月間啓発活動】



【7月の強調月間啓発活動でグッズを手渡す高校生】



【みとめて ほめて はげまして みんなの力で健やかに】

## 瑞浪市青少年育成市民会議の構成団体は、以下の諸団体です。

- \*市議会    \*教育委員会    \*町民会議・まちづくり    \*社会教育委員会    \*連合自治会    \*園長会
- \*小中学校校長会    \*瑞浪高等学校    \*中京高等学校    \*麗澤瑞浪中学・高等学校    \*中京学院大学
- \*市PTA連合会    \*市子ども会連合会    \*市スポーツ少年団    \*市民生委員・児童委員協議会
- \*東濃西部少年センター    \*社会福祉協議会    \*瑞浪保護区保護司会    \*多治見警察署瑞浪警部交番
- \*瑞浪ロータリークラブ    \*瑞浪ライオンズクラブ    \*瑞浪青年会議所

### 瑞浪市青少年育成市民会議本部

会長 水野 光二 (瑞浪市長)

◇強調月間啓発活動  
(7月・11月)

★理事代表 ☆理事副代表

曾我 順一 県指導員	伊藤 啓次 小池 誠	植村 準 小倉 富晴	桑原 義孝 旗 秀樹	☆岩島 辰也 ☆和田 建司	☆中根 圭一 ★萩尾 英明	市推進員 理事 羽柴 誠	顧問 可児 恵太 鈴木 圭子 柴田 洋子	監事 薄井 義彦 早瀬 邦夫	副会長 渡邊 勝 加藤 輔之 伊藤 慶和 勝 康弘
---------------	---------------	---------------	---------------	------------------	------------------	--------------------	-------------------------------	----------------------	---------------------------------------

### 専門部会

【 】部会    ◎部会長  
◇主な活動    ○副部会長

#### 【事業部会】

##### <家庭地域教育事業>

- ◇「高校生と語る会」
- ◇「教育講演・懇談会」

- ◎中根 圭一
- 桑原 義孝
- 三輪田幸泰
- 山田 隆二
- 堀部 なを
- 近藤 早苗
- 西尾 友宏
- 丸山 和宏
- 石川 哲也
- 小木曾史規
- 森田 龍典
- 水野 奈帆
- 鈴木 多美
- 河口 敦子
- 安田善一郎
- 安藤 昇
- 中村 鈴彦
- 湯原 定雄
- 小栗 丈人
- 小川 敏行
- 三輪 正夫
- 市岡 友子
- 加藤 誠二
- 水野 浩

##### <環境改善事業>

- ◇「夏季特別街頭指導」
- ◇「清掃ボランティア」

- ◎和田 建司
- 旗 秀樹
- 小倉 弘次
- 中山 英三
- 西尾 太志
- 三宅 滋郎
- 横井 雅代
- 青木 彩人
- 和田 智子
- 足立妃都美
- 吉田 誠
- 伊藤 孝一
- 原田 緑
- 中山 研吾
- 柳原 康人
- 岩島 祐貴
- 工藤 靖子
- 曾我 順一
- 伊藤 啓次
- 小池 誠
- 小倉 富晴
- 植村 準

#### 【広報部会】

##### ◇「市民会議だより」

- ◎岩島 辰也
- 萩尾 英明    早瀬 邦夫
- 薄井 義彦    渡邊 啓介
- 早瀬 徹

#### 今後の主な年間活動予定

- ・10月7日(土) 高校生と語る会
- ・11月『子ども・若者育成支援強調月間』  
※各地区文化祭会場にて、啓発グッズを配布する活動を行います。
- ・11月19日(日) 中央公民館啓発活動
- ・12月16日(土) 年末清掃ボランティア活動
- ・1月26日(金) 第2回専門部会
- ・2月17日(土) 第2回青少年育成市民会議  
総会(表彰・モデル地区発表)

#### 編集後記

本年度も、青少年を健全に育成するという目標を一つにしながら、青少年育成活動の様子を広く広報することに努めていきます。

今後も青少年の健全育成に対する市民の皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。

瑞浪市青少年育成市民会議 広報部会  
総合文化センター TEL 68-5281